

音更町地域公共交通計画素案の概要

《基本理念》

町民の思いをつないだ公共交通ネットワークがつくる 住みよいまち おとふけ

現状・問題点

- ・総人口の減少及び少子高齢化が進行している
- ・農村部には人口密度が低い散居形態があり、高齢化率も高い
- ・農村部のみならず市街地でも高齢化率が高いエリアがある
- ・運転免許非保有者が町内の各地区にまばらに存在している
- ・高齢者の免許返納後の不安は大きい

- ・都市機能施設は「市街地」に集積している
- ・農村部居住者の移動手段の確保は今後とも重要である
- ・2022（令和4）年4月に「道の駅おとふけ」が移転開業した
- ・「道の駅おとふけ」と「市街地」を往復するから帯広空港連絡バスが運行している
- ・町内交通で「道の駅おとふけ」までの移動を求める声がある

- ・町の移動支援に要している経費は、年間で約1億4千万円となっており、今後も増加することが見込まれる
- ・スクールバスについて、2020（令和2）年度以降、一般利用者は少ない
- ・居住地区によって、通学に伴う移動負担に差が生じている

- ・新型コロナウイルスの影響により、2020（令和2）年度以降、利用者は大きく減少（令和元年度と比較し減少は2割程度）したが、2021（令和3）年度は3万人台に回復している
- ・ほとんど利用されていないバス停（1人以下）がある

- ・コミュニティバスの運行（運行ルート、新バス停の設置、便数、運行時間帯など）に関する改善を求める声が多い
- ・バス停の位置について見直しを求める意見がある
- ・コミュニティバスの乗降場所について、現在のバス停以外で自由に乗り降りをしたいとの意見がある
- ・「時間が合わないから」との理由で、片道利用をしている人が多い
- ・コミュニティバスの認知度は高いが、利用者は少ない

- ・コミュニティバスの運行路線図を見たことがない町民が4割程度いる

- ・新型コロナウイルスの影響により、2020（令和2）年度以降、利用者は2019（令和元）年度に比べ約2割減少している
- ・乗合タクシーの利用登録者は約9割が70代以上であり、実利用者のほとんどが70代以上である
- ・利用登録をしても実際に利用している人は限られている

- ・乗合タクシーの将来の利用需要が見込まれる
- ・「乗車時間（便）が限られているから」等の理由で片道しか利用していない人がある
- ・乗合タクシー運行エリアの居住者への周知不足の可能性がある
- ・乗合タクシーの未登録者のうち約4割の人が乗合タクシーの運行を知らない
- ・乗合タクシーの利用意向はあるが、予約に対する不安があるとの意見がある

- ・新型コロナウイルス感染症などの影響により、2020（令和2）年度以降、利用者は減少傾向にある
- ・町民の多くが帯広市にも通院している
- ・町内交通（コミュニティバス）と路線バスの接続性が悪いと指摘する声がある

課題

町内移動の課題

【課題1】
町民の移動ニーズに即したコミュニティバスの運行内容などの改善

町内移動の課題

【課題2】
農村部における生活交通の維持と運行内容の改善

利用促進の課題

【課題3】
公共交通の利用に関するわかりやすい情報の提供ときっかけづくり

町外移動の課題

【課題4】
町民の広域的な移動を支援する地域間幹線システムの維持と町内交通とのスムーズな乗り継ぎ

基本方針・施策・取組

《基本方針1》

町民の移動ニーズに即した公共交通の利便性の向上

▼施策・取組内容

- 施策①**
コミュニティバスの利便性向上
- [取組内容]
・コミュニティバスについて、乗降場所や便数、運行ルート、運行時間帯、バス停の環境などを改善する
- 施策②**
高校生の通学に係る移動手段の利便性向上の検討
- [取組内容]
・高校生の通学に係る現状と移動手段の充実などのニーズを把握し、財政負担などを含めた実行可能な利便性向上の方法を検討する
- 施策③**
「道の駅おとふけ」への移動手段の充実に向けた検討
- [取組内容]
・既存の移動手段を活用した道の駅までの移動手段の充実化を検討する
- 施策④**
より利便性の高い新たな移動手段に係る導入可能性の検討
- [取組内容]
・本町の実態に即した最新技術による新たな移動手段の導入可能性を検討する

《基本方針2》

散居形態にある農村部居住者の町内移動を支援する生活交通の維持と利便性の向上

▼施策・取組内容

- 施策⑤**
農村部と市街地を結ぶ移動手段の継続的な運行
- [取組内容]
・乗合タクシーの運行を継続するとともに、利便性向上を目指して運行内容を改善する

《基本方針3》

地域公共交通の利用促進に向けた町民の意識醸成

▼施策・取組内容

- 施策⑥**
町民に対するわかりやすい情報提供の推進
- [取組内容]
・高齢者にもわかりやすい音更町バスマップの更新する
・より利用しやすく、わかりやすくなるようコミュニティバス運行路線図を更新する
・音更町バスマップやコミュニティバス運行路線図などに、利用するバス停と時間を記載する「マイ時刻表」の掲載する
・公共交通の具体的な活用事例を紹介する
- 施策⑦**
公共交通の利用につながるきっかけづくり
- [取組内容]
・町民を対象にバスの乗り方教室や勉強会などのイベントを実施し、ICTや路線図を活用した路線検索の方法などを周知する
・買い物や通院時のコミュニティバスや乗合タクシーの利用を促進するサービスなどを検討する
・上記のイベント時や町民に向けたアンケート調査を実施する際に、コミュニティバスの「試乗券」を配布するなど、公共交通を利用する機会を提供する

《基本方針4》

町民の広域的な移動を支援する地域間幹線システムの維持

▼施策・取組内容

- 施策⑧**
町民の広域的な移動の確保に向けた地域間幹線システムの維持
- [取組内容]
・町内から帯広市までをつなぐ路線バスの維持に努める
・町内交通と路線バスがスムーズに乗り継ぎできるようにする
・十勝総合振興局が策定する「(仮称)十勝地域公共交通計画」と連携し、利便性の高い広域的な地域公共交通網を検討する

※市街地：音更市街、開進・柳町、緑陽台、共栄台、鈴蘭、木野、宝来、ひびき野

現状・問題点における凡例

- ：地域概況
- ：ニーズ調査